

AIと人間の共存について

問合せ

教育文化振興課 ☎991-1873

企画財政課 ☎991-1815

AI(人工知能)の技術発展に伴い、私たちの生活やビジネスは大きく変わってきています。日常生活におけるAIの活用例としては、スマートフォンの音声アシスタント機能が挙げられます。スマートフォンに話しかけることで、天気予報の確認、アラームのセットなどができるだけでなく、簡単な質問に対する回答や提案を受けることができるようになりました。一方、ビジネスにおいても、チャットボット(人間の会話をシミュレートして自動的に返答するコンピューター・プログラム)を導入することで、オペレーターの負担や人件費の削減が可能になるため、様々な企業でAI技術が導入されています。

しかしながら、AI技術を悪用することで、様々な問題も起きています。その一つに、人権侵害問題があります。最近では、政治家や著名人の動画像を細工した偽物をインターネット上に拡散させる「フェイクニュース」と呼ばれる問題が発生しています。さらに、学生間で同級生などの偽の画像を作成し、通信アプリで共有、拡散されていたという事件もあり、深刻な社会問題となっています。

AI技術の発展により、私たちの生活が向上した点は多分にありますが、気が付かないうちに他者の人権を侵害しないように注意しなければなりません。また、インターネットの情報は、正しいものばかりではなく、嘘や間違い等も多いため、情報の真偽を判断する能力を身に付けることが大切です。

そのSMSやメールはフィッシング詐欺かも！！

悪質業者が大手事業者や公的機関等を騙り、SMS(ショートメッセージ)やメールを送信し、氏名・携帯番号・クレジットカード番号等の個人情報を搾取したうえ、クレジットカード等を不正利用するフィッシング詐欺が急増しています。

【事例1】荷物が届く頃、宅配業者から「不在連絡」のSMSが届いた。再配達依頼のリンクへアクセスし、氏名・携帯番号・メールアドレス等を入力した。その後、アカウントを持っていないアプリストアで身に覚えのない30万円がキャリア決済された。

【事例2】クレジットカード会社から「カードが不正利用されている」とメールが届いた。慌てて画面に表示されたフォームからカード番号等を入力した。後日、50万円が不正利用された。

消費生活センターからのアドバイス

- SMSやメールは常にフィッシング詐欺を疑い、記載されているリンク(URL)には決してアクセスしないよう注意してください。
- SMS、メールのリンクやフォームではなく、事前にブックマークした正規のサイトやアプリにアクセスしましょう。
- 詐欺だと思ったら、すぐに入力したカード会社や金融機関等に連絡し、ID、パスワードは他の使用先も含め変更しましょう。
- ID、パスワードの使いまわしはやめましょう。

1人で悩まず すぐ相談！

消費者ホットライン 松伏町消費生活センター

188

局番なし

又は ☎984-7208



小嶋だより

～支えあう 住みよい社会 地域から～

松伏町民生委員・児童委員協議会 広報部会

問合せ いきいき福祉課 社会福祉担当 ☎991-1874

子育て支援事業「親子で遊ぼう」
～短冊に願いを書いて飾りましょう～

7月7日は七夕の日です。お子さんと一緒に自分たちだけの笹飾りを作りましょう。

皆さんの申込みをお待ちしております。

- ▶日時 7月3日(木) 10:00～
- ▶場所 外前野記念会館 ハーモニー
- ▶内容 絵本の読み聞かせと笹の飾りつけ
- ▶対象 就学前のお子さんと保護者の方 10組(申込み順)
- ▶費用 無料
- ▶主催 松伏町民生委員・児童委員協議会 児童育み部会
- ▶申込み 6月3日(火)からいきいき福祉課社会福祉担当へ(電話申込み可)。



民生委員・児童委員は、地域の皆さんの「身近な相談相手」です。お気軽にご相談ください。

～民生委員・児童委員は、いつもあなたのそばにいます。～